

令和5年度 学校経営方針

長崎市立式見小学校

I 学校教育目標について

憲法・教育基本法・県教育方針等

【長崎市教育方針】(R4年度～R7年度)

長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、長崎のまちを愛し未来を担う子どもたちの育成をめざすとともに、だれもが生涯を通じていきいきと学び、楽しみ続けられる社会の実現に努める。とくに、本市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」、「希望あふれる人間都市」の実現に向け、長崎市独自の歴史・文化を活かし、平和を求め、多様性を認め合う、国際性豊かな市民の育成に努める。

【長崎市第五次総合計画前期基本計画】(令和4年度～令和7年度) 教育の振興に関する分野より抜粋

G:私たちは「未来を創る人を育み。だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします

【学校教育】G1 長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます

- ・「確かな学力」の向上を図ります(G1-1) ・家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります(G1-3)
- ・健やかな心と体を育成します(G1-2) ・安全・安心に学べる教育環境を整備します(G1-4)

【学校教育目標】

四気満ちて笑顔の花咲く学校

やる気(知) こん気(徳) げん気(体) ゆう気(心)

四気満ちるとは・・・

	やる気(知)	こん気(徳)	げん気(体)	ゆう気(心)
学校像	学力の向上を目指す学校	美しく静かな学校	健康で安全な学校	子どもの笑顔があふれる学校
子ども像	自ら進んで勉強する子(やる気)	粘り強く努力する子(こん気)	元気に運動する子(げん気)	優しく思いやりのある子(ゆう気)
教職員像	プロとしての資質を磨き、授業を第一に、切磋琢磨しながら互いを高め合う教職員	毎日の出会いを大切にして、子どもの成長のために誠実かつ粘り強く取り組む教職員	心身共に健康で、笑顔で子どもと接し、子どもと遊ぶ教職員	子どもたち一人一人の違いを尊重しながら、情報を共有し、互いに助け合う教職員
授業像	子どもものの目が輝き、やる気を引き起こす授業	一人一人の学びに目を向け、学びの足跡が見える授業	子どもが自らの考えを出し合い、高め合う授業	子ども一人一人が互いに認め合い、支え合う授業
あじさいスタンダードを指針とし、子どもが「わかる」「できる」楽しい授業を創る プロとしての資質を磨き、授業を第一に、切磋琢磨しながら互いを高め合う GIGA スクール構想に対応できる教育環境及び校内体制・教育課程等を整える				

～シン 式見小学校～ こんな教育活動を展開していきましょう

式見だからできる、式見らしい教育活動

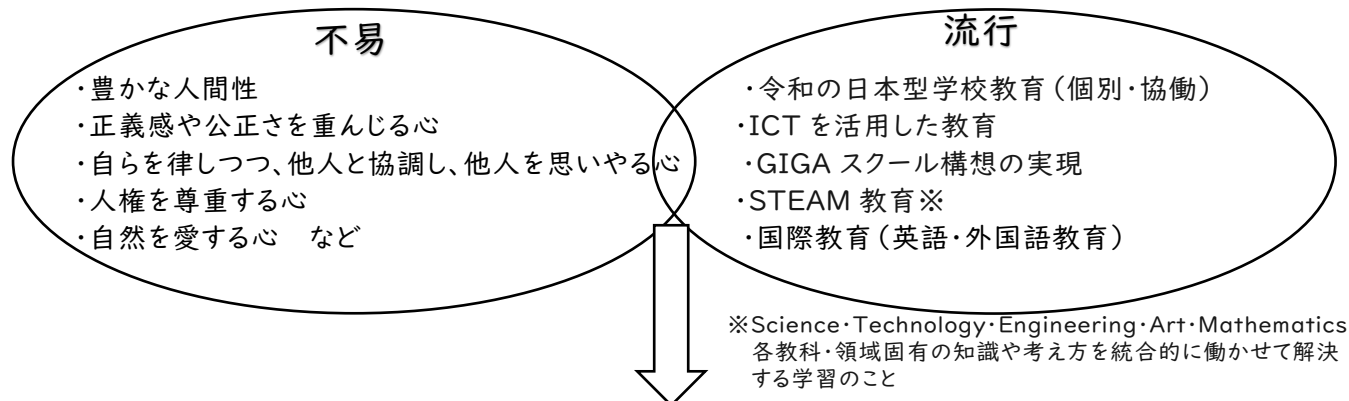
地域とともに歩む学校

小さな学校の大きな教育力 これこそが 式見小学校!!

2 学校経営方針について

どんなに社会が変化しようとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)があり、子どもたち一人一人が、伸び伸びと自らの個性を存分に発揮しながら、こうした大切な価値をしっかりと身に付けてほしいと考える。

一方、教育は、同時に社会の変化に無関心であってはならない。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題である。



学校の使命(ぶれずに追い求める学校の基本)
児童一人一人に3つの確かな力をつけることである。

- 授業を通して、**学力**をつける(知)
- 集団生活を通して、**心の力**をつける(徳・心)
- 運動や活動を通して、**体(耐力)**をつける(体)

～シン 式見小学校～ こんな教育活動を展開していきましょう

新・・・新たな気持ちで、新たな出会いを大切にする(出会いは人を変える大きなチャンス)

清・・・清い(きれいな)環境、きれいな言動で子どもを育てる(環境・人が人を育てる)

身・・・体が元気になる(身体が資本)

心・・・心が元気になる(わくわく、ドキドキ)

賑・・・明るくにぎわいのある(活気はやる気の源)

親・・・親しみのある学校(式見の地域性・・・地域の中にある学校 地域とともに歩む学校)

深・・・深い学びができる(主体的・対話的な学びとの両輪)

辛・・・時には辛口を受け入れる(人の意見は自分を高めるチャンス)

審・・・自分の教育活動を振り返る(可否・よしあしを見極めることが改善の一步)

芯・・・芯のある子どもを育てる(へこたれない、ぶれない)

伸・・・子ども、教職員 それぞれが自分の伸び(成長)を感じられる(だれでも伸びたいという気持ちがある)

信・・・信頼される、信頼し合える(人としての基本)

進・・・学びを止めず、前に進む、進化する(子ども、教職員ともに学びながら進んでいく)

真・・・真の教育活動を展開する(3つの力をつける学校の使命)

教職員それぞれが、自分のよさを生かしながら、**自分なりの“シン”をもって**取り組んでいきましょう。そして、**みんなの“シン”を結集させ、**

**式見だからできる、式見らしい教育活動
地域とともに歩む学校**

の実現を図っていきたいと思います。

小さな学校の大きな教育力 これこそが 式見小学校!!

3 重点努力事項

式見小学校では、下記の重点努力事項に取り組みながら、4つの気を育み、知・徳・体の確かな力をバランスよく身に付けた子どもを育成する。

	やる気(知) 【G1-1】【G1-3】	こん気(徳) 【G1-2】	げん気(体) 【G1-2】【G1-3】【G1-4】	ゆう気(心) 【G1-2】
重点努力事項(具体的方策)	① 複式授業を中心とした授業改善(校内研究の充実)【G1-1】 ・主体的に学ぶ授業 ・児童同士で学ぶ授業 ・学びが力となる授業(思考力・判断力・表現力) ② 基礎学力の定着 ・個に応じた指導、支援の充実【G1-1】 ・家庭学習の工夫・充実【G1-3】 ③ 学習規律の確立・徹底【G1-1】 ・物構え、身構え、心構えを大切に ・相手を大切に話す話の聞き方 ④ ふるさと学習の充実 ・ふるさと「式見」を軸とした学習活動の充実【G1-1】 ・地域の教育力の活用【G1-3】	① 目標を持ち、最後まで頑張る態度の育成【G1-2】 ・一人一人にチャレンジの場と伸び(成長)を実感する場の設定 ・切磋琢磨する(友達の頑張りに刺激を受ける)ための働きかけ ② 明るいあいさつの習慣化【G1-2】 ・心に届く挨拶の励行 ・「ありがとう」を大切に ③ 心を磨く清掃指導の徹底【G1-2】 ・無言掃除 ・時間いっぱいしっかり取り組む ・縦割り掃除での心の磨き合い ④ 心を整える後片付けの励行【G1-2】 ・はきもの揃え ・くつばこは心を映す鏡 ・後片付けは活動の総仕上げ	① 運動に親しみ、継続して体力づくりに取り組む子どもの育成【G1-2】 ・体育的活動の充実 ・外遊びの励行 ② よりよい生活習慣の確立 ・メディア、ゲーム、ネット等を自制できる心の育成【G1-3】 ・家庭との連携、協力【G1-3】 ③ 健康教育の充実・推進【G1-2】 ・保健室(養護教諭)との連携や活用 ④ 安全教育の徹底・充実【G1-4】 ・危機及び危険を回避する力の育成 ・安心、安全な教育環境の整備	① 一人ひとりのよさを伸ばす学級経営の充実【G1-2】 ・少人数や複式学級のよさを生かした学級経営 ② 温かい心を育む環境整備【G1-2】 ・言語環境、物的環境への配慮 ・特別の教科「道徳」を要とした道徳教育、人権教育の充実 ③ 異学年交流で育てる思いやりの心の育成【G1-2】 ・リーダーとしての自覚や態度、思いやり ・あこがれ・尊敬の気持ち ④ 読書活動の推進【G1-2】 ・穏やかな時間の確保 ・読書の楽しさ ・読書の質の向上
働き方改革	①「チーム式見」の意識を高める雰囲気づくり ・働きがい、やりがいのある職場づくり ・支え合い、高め合う教職員集団 ②超過勤務(月45時間 年間360時間)への意識を高める働き方改革 ・コロナ禍の経験を生かした行事の見直し(行事の工夫) ・ICT及び校務支援システムを活用した校務のスリム化 ・定時退庁日(全教職員・・・毎週木曜日 教頭定時退庁・・・毎週水曜日※新たに設定)の徹底			

<令和5年度開始にあたり、思うこと>

“シン”式見小 いろいろな“シン”がありましたが、私の中では、新(気持ちを新たに)親(子どもたち、先生方、保護者・地域の方々への親しみを感じながら)進(コロナ禍が明け、様々な教育活動を前に進め)小さな学校だからこそできる真の教育活動にみんなで協力して取り組み、子ども一人一人に届く大きな教育力を発揮していきたいと思います。

そのためには、式見小教職員が一つになる「チーム式見」の職員集団を創ることが大切です。

「チーム式見」として大切にしたいこと(こんな教職員集団を目指しましょう)

- ・ゴール(目標)を共有し、そのゴールが困難でも、ゴールに向かう過程を楽しみながら取り組んでいる。
- ・チーム内で意見の衝突を恐れず、意見をぶつけ合う中で新しい考え(価値観)が生まれることを知っている。
- ・自分の責任を果たすことに誇りをもっている。その責任を果たそうと頑張っている人をみんなで支え、協力する。
- ・お互いのよさを認め合い、敬意をもって接している。(支持的集団)
- ・チームで活動すること、チームで成し遂げることにやりがいや達成感を求めている。
- ・みんなの時間を大切に、行動する。(時間を意識して行動する。)
- ・教職員間(管理職も含む)のコミュニケーションを大切にするとともに、報・連・相の日常化を図る。
- ・**先生方の思いを応援する。**(思いがなんとか実現できないか、一緒に考える。ダメ・・・ではなく、こうしたら実現できないか、という視点で考える。)